

番号	20	令和2年度公共事業再評価調書				担当課名 港湾整備課	
事業名	海岸(高潮)事業			事業主体	静岡県		
箇所名	沼津港海岸 <small>ヌマツ ヨウカイガン</small>			市町名	沼津市		
事業採択年度	平成8年度	計画期間	平成8年度～令和4年度				
用地着手年度	平成-年度	工事着手年度	平成9年度				
再評価理由※	再評価実施(H27)後5年間が経過した時点で継続中						
全体事業費	百万円 5,657	投資状況 (百万円)	～H30年度 5,286	R1年度 75	R2年度見込 173	計 5,534	
事業概要	<p>(1)事業目的 東海地震等により発生が予想される津波から、背後地の浸水被害を防止・軽減し、住民の生命と財産を守ることを目的とする。</p> <p>(2)事業内容 水門：数=1基 胸壁：延長=170m 堤防(改良)：延長=653m 陸閘：数=2基</p>						
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 東日本大震災の甚大な津波被害を受け、国民の津波対策への関心が高まり、浸水が想定される沿岸地域では、津波避難計画の策定や津波避難訓練の実施など、防災意識の高揚が図られている。このような中、沿岸住民の生命と財産を守るうえで重要な役割を担う防潮堤の整備に対する期待は、益々大きなものとなっている。						
事業の必要性	<p>(2)事業の投資効果 費用対効果(B/C)：19.2、経済的内部収益率(EIRR)：27.1% 総便益：182.68億円 (一般資産被害額、公共土木施設被害額、公益事業等被害額) 総費用：9.47億円 (建設費：8.74億円、維持管理費：0.73億円)</p> <p>(3)事業の進捗状況(令和2年度末見込み) 【事業費】97.8%(5,534百万円/5,657百万円) 【事業量】98.5%(870m/883m)</p> <p>評価 <u>継続が妥当</u> ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点2】	本事業による防潮堤の整備については、東日本大震災以降、地元からの事業に対する期待も非常に大きく、津波防護ラインの早期完成が求められている。今後もコスト縮減に努めつつ、計画的な事業推進を図ることで、令和4年度までの計画期間内における完成が見込まれる。						
今後の事業の進捗の見込み	評価 <u>継続が妥当</u> ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない						
【視点3】	新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性 防護ラインの開口部(臨港道路)について、ライフサイクルコストを考慮し、陸閘整備に代わる道路の縦断線形改良による嵩上げ対策を実施した。 耐震補強工事において、裏込土に田子の浦港の土砂を流用し、コスト縮減を図った。 引き続きコスト縮減に努めていく。						
対応方針案	<p>(1)対応方針(案) 本事業を( <u>継続</u> ・ 中止 )する。</p> <p>(2)理由 本事業は順調に推移しており、地震・津波対策アクションプログラム2013に位置付けており、費用対効果も十分に認められ、津波対策に対する地域住民の要望も非常に大きいため、事業を継続し早期完成を図る。</p>						

## 費用対効果の算出説明書

### 沼津港海岸 海岸(高潮)事業

#### 1. 分析設定

・費用対効果分析の基本的な考え方

「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)(令和2年4月 一部更新) 平成16年6月」

「治水経済評価マニュアル(案)」令和2年4月

(各種資産評価単価及びデフレーターは令和2年4月改訂版))

・社会的割引率 4%

#### 2. 分析結果

##### 総括表

総便益B	「浸水防護便益」 事業を実施しない場合に想定される浸水地域での資産被害額	182.68億円
総費用C	[建設費] + [評価期間内に必要な維持管理費]	9.47億円
B/C	費用便益比	<b>19.28</b>
EIRR	経済的内部収益率	<b>27.1%</b>

##### 総便益

○「浸水防護便益」  
年平均被害軽減額を社会的割引率4%、評価対象期間77年(工期27年+50年)とし、現在価値化する。

$$\text{便益計} = \sum \text{年平均被害軽減額} / (1+0.04)^n$$

$$= 182.68 \text{億円}$$

##### 総費用

全体事業費 9.47億円(事業費8.74億円、維持管理費0.73億円)

$$\text{費用計} = \sum \text{年間建設費} / (1+0.04)^n + \sum \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n$$

$$= 9.47 \text{億円}$$